

8月29日（月）平和学習

夏休みが終わり、2学期がはじまりました。心なしか夏の暑さも軽くなってきた中、平和学習が行われました。1年生は「北方領土問題」、2年生は「沖縄戦、特攻隊」、3年生は「ロシア vs ウクライナ 戦争」をそれぞれテーマとして取り上げました。

すでに歴史として学習した学年でも、単なる歴史上の出来事としてではなく、当時の人たちがどのような気持ちだったか、どのような事情があるのか、などをタブレットで調べたり、映像から感じ取ったり、また班活動の中でもとても真剣な表情で話し合い、自分の考えを深めてくれたようです。

これからも、ひとりのちからは小さくても、まずは自分に何ができるかを考えられる人物であってほしいと思います。

【生徒の感想】

- 自分が変えられるのは自分だけなんだなと思いました。だからまずは自分が意識して変わっていこうと思います。
- 沖縄戦は自分と同じ年で国のために命をかけて戦っていたのをしておどろいた。またこんなことをくり返さないように自分もこれからずっと戦争について考えたいと思った。
- 戦争を起こさないようにするためには、その原因となる問題を力で解決するのではなく、意見での話し合いでお互いが納得する必要があると思いました。戦争という争いは、今まで辛いことも楽しいことも味わってきた大人が起こすもので、そこに巻き込まれる子どもたちの苦しむ気持ちも配慮する必要があると思いました。今後、世界でも、日本でも、小さな争いであっても、力で解決しないようにするためには、普段から友達との接し方や、言葉遣いを相手の立場に考えて行動をしていくことが、今の私達にできることだと気づけたので、私も今から高い意識を持って生活していきたいと思います。

